

## No.2261 JIS印刷適性試験機(1軸型)

製紙および印刷工程において、紙の表面強度を測定する指標として、従来より広く利用されてきた方法がこの IGT 印刷機法です。印刷結果により迅速に、適確に予知のできるこの方法は管理上とても有用です。この目的で簡単且つ取扱容易な試験機が各所で採用され、JIS 試験法に標準化されています。その特長は印圧、インキの厚み、バックング、印刷速度が一定に保たれ、しかもそれらを簡単に変更ことができ、少量のインキと紙があれば短時間に測定することができます。

## &lt; 適用される試験 &gt;

1. ピッキング抵抗
2. 印刷濃度
3. 印刷色相
4. 印刷初期のインキ浸透性の評価
5. 乾燥時間測定
6. 紙の平滑度

印刷版面	巾 10mm×長さ 200mm 巾 20mm×長さ 200mm
印刷圧力	0～760N 全圧
印刷速度	振子 0～1.25m/sec スプリングドライブ 0～3.7m/sec
参考規格	JIS P-8129-1998, TAPPI UM591
外形寸法	印刷機 380×240×390mm スプリングデバイス 170×100×390mm
重量	印刷機 22kg スプリングデバイス 3.8kg



印刷適性

## No.2262 インキ練り機

本機は、IGT 印刷試験機法での試験用にインキを一定時間練り、ディスク(版面)に一定のインキ皮膜を作る器具です。常に安定した着肉量を提供します。

ディスク	巾 10,20mm
スチールロール	(小) 50rpm (大) 横に摺動 2 本
練りロール	ポリウレタン又はプラスター(ゴム)ロール
参考規格	JIS P-8129-1998 TAPPI UM 591
電源	100/110V 50/60Hz 1A
外形寸法	400×490×250mm
重量	27kg

